平成26年度 財政状況資料集

終括表(市町村)

栃木県 下野市 (人) 59, 483 (人) 59, 132 (%) 0, 6 (人) 60, 235 本人(人) 59, 775 (人) 60, 279 本人(人) 59, 881 (%) -0.1 本人(%) -0.2 74, 59	区分 第1次	全業構造(※5) 22年国調	-3	指定団体等 財政健全化等 財源超過 首都 近畿 中部 過疎	× × × × × ×	歳入総額 歳出歳み歳と 要質を収を 単年を収す	酸すべき財源	23, 679, 299 22, 288, 739 1, 390, 560 141, 527 1, 249, 033	23, 299, 745 1, 211, 569 153, 599 1, 057, 970	実質収支比率 経常収支比率 (※1) 標準財政規模 財政力指数		8. 8 85. 5 (89. 1) 14, 160, 277 0. 80	7 84 (90. 13, 983, 9 0.
(人) 59, 483 (人) 59, 132 (%) 0, 6 (人) 60, 235 本人(人) 59, 775 (人) 60, 279 本人(人) 59, 881 (%) -0, 1 本人(%) -0, 2	区分 第1次	全業構造(※5) 22年国調	-3	財源超過 首都 近畿 中部 過疎	× O × ×	歳入歳出差 数年度に編 要年度に編 実質収支	酸すべき財源	1, 390, 560 141, 527 1, 249, 033	1, 211, 569 153, 599 1, 057, 970	(※1) 標準財政規模		(89. 1) 14, 160, 277	(90 13, 983,
(人) 59, 483 (人) 59, 132 (%) 0, 6 (人) 60, 235 本人(人) 59, 775 (人) 60, 279 本人(人) 59, 881 (%) -0, 1 本人(%) -0, 2	区分 第1次	全業構造(※5) 22年国調	-3	首都 近畿 中部 過疎	O × ×	翌年度に編 実質収支	酸すべき財源	141, 527 1, 249, 033	153, 599 1, 057, 970	標準財政規模		14, 160, 277	13, 983,
(人) 59, 483 (人) 59, 132 (%) 0, 6 (人) 60, 235 本人(人) 59, 775 (人) 60, 279 本人(人) 59, 881 (%) -0, 1 本人(%) -0, 2	区分 第1次	全業構造(※5) 22年国調		近畿 中部 過疎	×	実質収支		1, 249, 033	1, 057, 970				
(人) 59,132 (%) 0.6 (人) 60,235 本人(人) 59,775 (人) 60,279 本人(人) 59,881 (%) -0.1 本人(%) -0.2	区分 第1次	22年国調		中部過疎	×	_	,			財政力指数		0.80	(
(人) 59,132 (%) 0.6 (人) 60,235 本人(人) 59,775 (人) 60,279 本人(人) 59,881 (%) -0.1 本人(%) -0.2	区分 第1次	22年国調		過疎		単年度収支	7						
(%6) 0.6 (人) 60,235 本人(人) 59,775 (人) 60,279 本人(人) 59,881 (%6) -0.1 本人(%6) -0.2	区分 第1次	22年国調			×	T+ + A		191, 063		公債費負担比率		17. 6	
(人) 60, 235 本人(人) 59, 775 (人) 60, 279 本人(人) 59, 881 (%) -0.1 本人(%) -0.2	第1次					積立金		1, 517		健全化判断比率			
本人(人) 59,775 (人) 60,279 本人(人) 59,881 (%) -0.1 本人(%) -0.2	第1次		474-59	山振 低開発	×	繰上償還金		443, 422	395, 000	実質赤字比率		-	
(人) 60,279 本人(人) 59,881 (%) -0.1 本人(%) -0.2		1 001		低開発 指数表選定	×	積立金取前		21, 464	477, 400	連結実質赤字比率		-	
本人(人) 59,881 (%) -0.1 本人(%) -0.2		1, 881 6. 7	2, 553 8, 6	扫 叙衣进正	0	実質単年度	[収支	614, 538	554, 521	実質公債費比率		6. 9	
(%) -0.1 本人(%) -0.2		7, 803	8, 340			# # B+ Th ilt	1 2 85	7, 561, 763	7 266 022	将来負担比率 資金不足比率 (※4)		_	
本人(%) -0.2	第2次	27. 8	8, 340 28, 1			基準財政収 基準財政需		9, 430, 950	9, 116, 210	資金个足几率(※4)			
		18, 390	18, 526					9, 430, 950 9, 862, 406	9, 116, 210				
	第3次	65. 5	62.5			標準税収入	、組寺 5.当一般財源等	9, 862, 406 11, 703, 909	11, 591, 157				
74. 59		00. 0	02. 5			歳入一般則		16, 487, 392	16, 826, 533				
20, 501						威人一般见	1	10, 467, 392	10, 620, 553				
20, 301	20年20年20			l .		-							
	戦員の仏が			I I									
1人あたり平均 給料月額(百円)		区分				地方债用力	查	10 7/0 86/	19 707 030				
1 9 400	般	A				_							
	AUX.		330	1, 133, 000	0, 100								
	等 = +		28	80 248	2 866	-		334, 037	400, 407				
	※ ※ ※							679 290	678 787				
	0		_	10, 420	0,000								
		~	361	1 153 285	3 195	積立金							
		レス指数		., ,		現在高							
l						1							
	会計の一覧	소計소											(*
													(**
(2)	国民健康保険事業			(5) 水道事業会計	•		(6) 公共下水道事業特別会	R#T	(10) 栃木県南公設地	方卸売市場事務組合	(1/) 下野市農	業公社	
(3)	介護保険事業						(7) 農業集落排水事業特別	会計	(11) 小山広域保健衛	生組合	(18) グリムの!	里いしばし	
(4)	後期高齢者医療事	業					(8) 宇都宮都市計画事業石 業特別会計	橋駅周辺土地区画整理事	(12) 石橋地区消防組	合	(19) 道の駅し	もつけ	
							(9) 小山栃木都市計画事業 事業特別会計	仁良川地区土地区画整理	(13) 栃木県市町村総	合事務組合一般会計			
									(14) 栃木県市町村総	合事務組合特別会計			
									(15) 栃木県後期高齢	者医療広域連合一般会計			
	1人あたり平均 給料月額(百円) 1 9,400 1 7,400 1 6,600 1 4,700 1 3,800 6 3,500 事業4 項番 (2)	職員の状況 1人あたり平均 給料月額(百円) 1 9.400 1 7.400 1 6.600 1 4.700 1 3.800 6 3.500	職員の状況 1 人あたり平均 給料月額(百円) 1 9,400 機 1 7,400 員等 1 6,600 1 4,700 6 1 3,800 会計 5スパイレス指数 事業会計の一覧 項番 会計名 (2) 国民健康保険事業	職員の状況 1 人あたり平均 給料月額(百円) 1 9,400 機職 1 7,400 号等 1 6,6600 ※ 6 うち消防職員 5 1 4,700 6 3,500 ※ 6 路時職員 5 1 3,800 6 3,500 ラスパイレス指数 事業会計の一覧 項番 会計名 (2) 国民健康保険事業 (3) 介護保険事業	職員の状況 1 人あたり平均 給料月額(百円) 1 9,400 機職 1 7,400 子も 28 80,248 対 4,700 子も 3,500 子も 1,133,860 5 5 月防職員	職員の状況 1 人あたり平均 給料月額(百円) 1 9,400 機職 一般職員 356 1,133,860 3,185 5 5 消防職員 - 一般職員 5 5 消防職員 28 80,248 2,866 後育公務員 5 19,425 3,885 6 3,500 ラスパイレス指数 98.6 事業会計の一覧 (公) 国民健康保険事業 (3) 介護保険事業 (5) 水道事業会計	職員の状況 1人あたり平均	Table 1	職員の状況 1人あたり平均	1人あたり平均 総料月額(百円) 一般職員 356 1,133,860 3,185 うち公的資金 11,016,983 11,604,950 1 6,600 6 3,500 6 3,500 5 1,133,860 7 3,400 6 3,500 7 3,400 6 3,500 7 3,400 7	Table Ta	1	1人参たり平均 1人参大り平均 1人参大り 1人参大

⁽注釈)※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債 (特例分))」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計 (10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。 ※6:個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(一)としている)。

(1) 普通会計の状況(市町村)

)状況(単位 千円				地方税の状況(単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比		構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分		
地方税	9, 431, 273	39.8	8, 953, 553		普通税	8, 953, 553	94. 9	94, 677		
地方譲与税	232, 967	1.0	232, 967	1.8	法定普通税	8, 953, 553	94. 9	94, 677		
利子割交付金	16, 182	0. 1	16, 182	0.1	市町村民税	4, 410, 549	46.8	94, 677		
配当割交付金	67, 692	0.3	67, 692	0.5	個人均等割	101, 403	1.1	-		
株式等譲渡所得割交付金	37, 010	0. 2	37, 010	0.3	所得割	3, 732, 347	39.6			
地方消費税交付金	659, 464	2. 8	659, 464	5.0	法人均等割	171, 286	1.8	28, 438		
ゴルフ場利用税交付金	903	0.0	903	0.0	法人税割	405, 513	4. 3	66, 239		
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	4, 014, 645	42. 6			
自動車取得税交付金	35, 877	0. 2	35, 877	0.3	うち純固定資産税	4, 008, 956	42. 5	-		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	93, 966	1.0	-		
地方特例交付金	33, 707	0.1	33, 707	0.3	市町村たばこ税	434, 393	4. 6			
地方交付税	3, 662, 999	15.5	3, 045, 629	23. 2	鉱産税	_	-	-		
普通交付税	3, 045, 629	12. 9	3, 045, 629	23. 2	特別土地保有税	-	-	-		
特別交付税	617, 370	2. 6	_	-	法定外普通税	-	-			
震災復興特別交付税	_	-	_	-	目的税	477, 720	5. 1	-		
(一般財源計)	14, 178, 074	59. 9	13, 082, 984	99.6	法定目的税	477, 720	5. 1	-		
交通安全対策特別交付金	7, 999	0.0	7, 999	0.1	入湯税		-	-		
分担金·負担金	85, 145	0.4	_	-	事業所税	-	-	-		
使用料	373, 599	1.6	17, 271	0.1	都市計画税	477, 720	5. 1	-		
手数料	32, 537	0. 1	_	_	水利地益税等	_	-	-		
国庫支出金	2, 491, 516	10.5	_	-	法定外目的税	-	-			
国有提供交付金(特別区財調交付金)	26, 762	0. 1	26, 762	0. 2	旧法による税	-	-	-		
都道府県支出金	1, 420, 484	6.0	_	-	合計	9, 431, 273	100.0	94, 677		
財産収入	83, 826	0.4	5, 649	0.0		, ,		,		
寄附金	7, 085	0.0	_	_	区分	平成26年度	E I	平成25年度		
繰入金	458, 357	1. 9	-	_	# la 表 合計	98. 8	94. 9	98. 6 94. 3		
繰越金	1, 211, 569	5. 1	_	-	徴収率 現 市町村民税	98. 9	95. 9	98. 7 95. 3		
諸収入	562, 846	2. 4	1, 280	0.0	(%) 年 計 中町科氏税 純固定資産税	98. 6	93. 4	98. 4 92. 9		
地方債	2, 739, 500	11.6	_	-	1,	· ·				
うち減収補塡債(特例分)	-	-	-	_	公営事業等への繰出	国民健康	東保険事業	会計の状況		
うち臨時財政対策債	540, 000	2. 3	_	-	合計 2,700,853	実質収支		301, 505		
歳入合計	23, 679, 299	100.0	13, 141, 945	100.0	下水道 939,900			262, 468		
			, ,		宅地造成 443,414		i)	7, 861		
					上水道 9,002		-	14, 463		
					市場 3,607	C /0 P	発税(料)収			
					国民健康保険 306, 481	微体映名 🖃	支出金	85		
					その他 998,449		給付費	250		
(注釈)					2 2	Chili		1 200		

(注料	沢)		
	***	12	

	歳出の		位 千円・%)			
	目的別歳		(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A) のうち普通建	建設事業費	(A)のうち充	
議会費	202, 449	0. 9		-		202, 449
総務費	3, 125, 296	14.0	1	, 132, 795		1, 831, 442
民生費	6, 479, 279	29. 1		304, 596		3, 174, 381
衛生費	1, 346, 431	6.0		15, 575		1, 322, 823
労働費	1, 090	0.0		-		1, 090
農林水産業費	1, 065, 589	4.8		181, 403		710, 736
商工費	693, 041	3. 1		19, 314		210, 846
土木費	2, 533, 577	11.4	1	, 141, 164		1, 665, 197
消防費	935, 473	4. 2		47, 411		889, 573
教育費	2, 991, 930	13.4	1	, 124, 158		2, 181, 403
災害復旧費	_	-		_		_
公債費	2, 914, 584	13. 1		-		2, 906, 892
諸支出費	_	-		-		· · · · –
前年度繰上充用金	-	_		_		_
歳出合計	22, 288, 739	100.0	3.	966, 416		15, 096, 832
~~~~	,,		-,	,		,,
	性質別歳と	出の状況	(単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充	当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	9, 178, 804	41. 2	6, 786, 184		6. 310. 493	46.1
人件費	3, 190, 782	14. 3	3, 019, 729		2, 987, 534	21. 8
うち職員給	1, 947, 139	8.7	1, 794, 699			
扶助費	3, 073, 438	13. 8	859, 563		859, 489	6. 3
公債費	2, 914, 584	13. 1	2, 906, 892		2. 463. 470	18. 0
元利償還金	2, 914, 584	13. 1	2, 906, 892		2, 463, 470	18. 0
内うち元金	2, 696, 666	12. 1	2, 688, 974		2, 245, 552	16. 4
訳 うち利子	217, 918	1.0	217, 918		217. 918	1.6
一時借入金利子	217,010	-				-
その他の経費	9, 143, 519	41.0	7, 303, 409		5, 393, 416	39. 4
物件費	3, 271, 853	14. 7	2, 501, 237		2. 371. 182	17. 3
維持補修費	129, 017	0.6	124, 922		124, 244	0.9
補助費等	2. 266. 361	10. 2	1, 948, 671		1. 324. 055	9.7
うち一部事務組合負担金	1, 314, 282	5. 9	1, 314, 282		829, 102	6. 1
経出金	2, 691, 851	12. 1	2, 484, 047		1, 569, 975	11. 5
精立金	309, 757	1.4	240, 572		1, 303, 373	11.3
投資・出資金・貸付金	474, 680	2.1	3, 960		3. 960	0. 0
前年度繰上充用金	474, 000	2. 1	3, 900		3, 900	0.0
刊中及樑工元用並 投資的経費計	3, 966, 416	17. 8	1. 007. 239			
うち人件費 普通建設事業費	165, 899	0.7	165, 899 1, 007, 239			
	3, 966, 416	17. 8 5. 5				
内うち補助	1, 236, 311		86, 713			
記し、 うち単独	2, 708, 530	12. 2	907, 451			
火舌復旧争耒貸	-	_	-			
失業対策事業費		100.0	15 000 000			
歳出合計	22, 288, 739	100.0	15, 096, 832			

## (2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	23,625	22,234	1,391	1,249	458	19,738		
2								
3								
4								l
5								l
6								
7								
8								
9								
10								
11								l
12								l
13								I
14								l
15								I
16								1
計 一般会計等(純計)	23,625	22,234	1,391	1,249		19,738		İ

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)											
	会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考	
1	国民健康保険事業	5,850	5,548	302	302	412	0	0	-		
2	介護保険事業	3,347	3,269	78	78	502	0	0	-		
3	後期高齢者医療事業	502	500	2	2	102	0	0	-		
4	水道事業会計	1,051	820	231	835	0	2,562	10	-	法適用企業	
5	公共下水道事業特別会計	1,925	1,871	54	54	593	7,220	4,361	-	法非適用企業	
6	農業集落排水事業特別会計	432	421	11	11	346	2,650	2,650	-	法非適用企業	
7	宇都宮都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計	39	30	9	9	16	4	4	-	法非適用企業	
8	小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計	801	675	125	12	472	7	7	-	法非適用企業	
ç											
11	D										
1											
1:	2										
1											
1	1										
1	5										
1	3										
1	,										
18	3										
1											
2											
2	1										
2	2										
2	3										
2	\$										
2	5										1
2	5										
2	7										
2	3										
2											
31											1
3											
3:	2										1
3	3										1
3	\$										1
3	5										連結実質
ř.	公営企業会計等				1,303		12,443	7,032			

具	【係する一部事務組合等の財政状況(単位	江:百万円)							
	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	栃木県南公設地方卸売市場事務組合	583	568	15	15	0	1,018	7	
2	小山広域保健衛生組合	5,581	4,771	810	809	0	1,520	176	
3	石橋地区消防組合	2,125	2,090	35	35	35	827	387	
4	栃木県市町村総合事務組合一般会計	13,280	12,837	443	443	6	0	0	
5	栃木県市町村総合事務組合特別会計	178	176	2	2	2	0	0	
6	栃木県後期高齢者医療広域連合一般会計	127	116	11	11	2	0	0	
7	栃木県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計	196,871	186,524	10,347	10,347	1,375	0	0	
8									
9									
10	)								
11									
12									
13	3								
14									
15									
16									
10	,								
18	3								
15									
20									
ă	一部事務組合等				11,662		3,365	570	

(単年度)

(3ヵ年平均)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

地方公社・第三セクター等名

経常損益 純資産又は 正味財産

平成26年度 栃木県下野市

+	下野市農業公社	▲ 6	66	50	14	0	0	0	0	
2	グリムの里いしばし	▲ 3	51	50	11	0	0	0	0	
3	道の駅しもつけ	8	119	42	0	0	0	0	0	
1										
5										
3										
7										
3										
)										
)										
1										
2										
3										
1										
5										
3										
7										
8										
9										
0										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
0										
+										
-										
-										
-										
-										
,										
-										
-										
-										
-										
2										
3										
1										
5										
3										
,										
3										
9										
)										
_										
2										
3										
+										
i										
;										
7										
В										
9										
0										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
3										
9										
0										
1										
!										
3										
L										
5										
3										
7										
3										
)										
)										
2										
	方公社・第三セクター等			142	25	0	0	0	0	

									※地方公共	四体 別 以 健 3	E1に法に基づる	行术貝担几	半の昇疋刈	まとなっている法人については、〇印を行与して	ທ _່ ວ.			
公	責費負担の状況					将来負担の	D状況											
	実質公債費比率 (	千円・%)									4	将来負担比率	生 (千円・9	)				
	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元	利償還金	2,403,159	2,457,606	2,464,644	21.0	将来負担額	領 一般会計等に係る地方債の現在高		19,215,747	19,651,215	19,738,483	167.9	PFI事	業に係るもの	-	-	-	-
減	責基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額		488,706	418,121	343,779	2.9	いわけ	る五省協定等に係るもの	488,706	418,121	343,779	2.9
31	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	_		公営企業債等繰入見込額		7,445,379	7,115,573	7,032,782	59.8	上営国	地改良事業に係るもの	-	-	-	-
5		613,031	618,762	668,549	5.7		組合等負担等見込額		437,332	405,496	570,549	4.9	債 森林彩	合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
有价		77,911	68,857	72,723	0.6		退職手当負担見込額		1,862,182	1,694,854	1,325,358	11.3	粉 負 地方公	務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
i	・ - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	129,080	93,816	93,767	0.8		設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	担依頼」	地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-
3	一時借入金の利子	-	-	-	-		連結実質赤字額		-	-	-	-	為 社会礼	祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
	合計 (A)	3,223,181	3,239,041	3,299,683		1	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	損失補	償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
	内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		合計	(E)	29,449,346	29,285,259	29,010,951		引き受	けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能 財源等	充当可能基金		9,382,990	10,596,436	10,795,125	91.8	その他	上記に準ずるもの	-	-	-	-
	いわゆる五省協定等に係るもの	128,169	93,107	93,187	0.8	別源守	充当可能特定歲入		2,257,096	2,160,413	2,014,561	17.1		公共下水道事業特別会計	4,323,993	4,208,139	4,360,932	37.1
l a	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額		23,372,384	23,827,319	24,366,714	207.2		農業集落排水事業特別会計	3,026,875	2,841,206	2,650,220	22.5
7	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計	(F)	35,012,470	36,584,168	37,176,400		企業債等 繰入見込割	水道事業会計	10,128	10,413	10,249	0.1
1	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	将来負担比	比率((E)-(F))/((C)-(D))×100		-	-	-		19K7 (7CA210	小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計	12,790	10,068	7,346	0.1
í	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-								1	その他の会計	71,593	45,747	4,035	0.0
2	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-									地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	f	健全化判断比率 平成26年度 早	期健全	化基準 財政	改再生基準			公社・三セク等	土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-
	利子補給に係るもの	911	709	580	0.0	実	質赤字比率 -		12.84	20.00				その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	-
特	定財源の額 (E	3) 194,497	182,231	206,929		連	結実質赤字比率 -		17.84	30.00				·				
標	準財政規模 (C	13,805,471	13,983,954	14,160,277		実	質公債費比率 6.9		25.0	35.0								
箅	入公債費等の額 (C	2,109,851	2,221,138	2,401,994		将:	来負担比率 -		350.0									
	(C)-(D	11,695,620	11,762,816	11,758,283		1 –				- L								
	W = ±					1												

## (3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

### 平成26年度

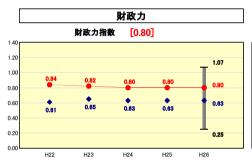
### 栃木県下野市



● 当該団体値 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

- ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
- ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

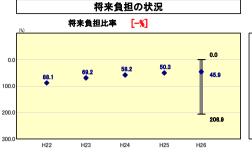


#### 類似闭体内層份 全国平均 栃木県平均 43/198 0.49 0.71

#### 財政力指数の分析欄

近年、長引く景気低迷の影響による税収減により、財政力指数が低下してきたが、個 人市民税などの増により前年度と同数となり下落傾向に歯止めがかかった。

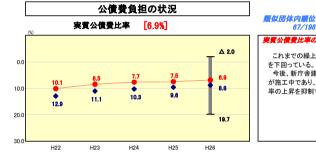
今後、景気動向も不透明なうえ総合運動公園整備などの大型事業を施行中であるた め、普通建設事業の峻別、起債事業の抑制、人件費の削減や市税の徴収強化による 歳入確保を図り、財政基盤の強化に努める。



### 1/100

類似団体内順位 全国平均 栃木県平均 45.0 14.9

平成19~21年度、平成24~26年度に繰上償還(1,205百万円)を実施し地方債残高の 縮減に努めるとともに、減債基金、財政調整基金、庁舎等整備基金などへの積立によ る充当可能基金により類似団体、県平均を大幅に下回り、良好な数値となっている。 今後も積極的な行財政改革を進め財政の健全化に努める。



### 67/198 実質公債費比率の分析機

これまでの繰上償還実施など地方債残高の縮減に努めたことにより、類似団体平均

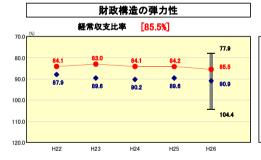
栃太県平均

栃木県平均

6.77

全国平均

今後、新庁舎建設の事業完了、総合運動公園などの合併特例債を活用した大型事業 が施工中であり、公債費の増加が予想されることから事業の峻別を行い実質公債費比 率の上昇を抑制する。



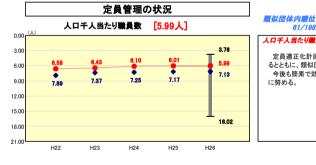
#### 類似団体内順位 全国平均 栃木県平均 18/198 89.9

#### 経営収支比率の分析機

類似団体内順位

定数削減による人件費の減額を図るなど経常経費の縮減を行い、類似団体の平均、 県平均を下回り良好な数値になってはいるが、物件費の増、合併特例債償還金の増な どにより全体では 13%の微増となった

今後についても行政改革大綱・実施計画の実行により、積極的な経常経費の縮減を 行い弾力性のある財政構造の維持に努める。

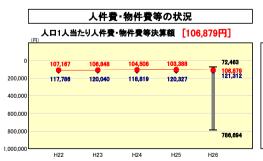


#### 人口千人当たり職員数の分析欄

定員適正化計画に基づく職員数削減により、人口千人当たりの職員数は年々減少す るとともに、類似団体、県平均を下回っている。

今後も簡素で効率的、効果的な行政組織体制づくりを行うとともに、適正な定員管理

全国平均



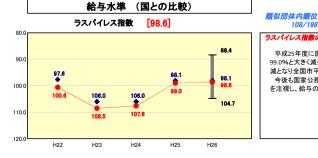


定員適正化計画の推進に伴う人件費の削減及び事務的経費の縮減、指定管理者制 度導入による物件費の削減を実施したことにより類似団体平均、県平均を下回っている。 今後も引き続き徹底した人件費及び物件費の削減に努め行政コストの低減を図る。

119,984

栃木県平均

114,682



### ラスパイレス指数の分析機

平成25年度に国家公務員給与の臨時特例減額措置終了の影響により、指数は 99.0%と大きく減少したが、平成26年度においても98.6%、前年度と比較して△0.4%の 減となり全国市平均値を下回る数値になっている。

今後も国家公務員給与の措置、総合的見直し、職員階層変動、採用退職による影響 を注視し、給与の適正化に努める。

## (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

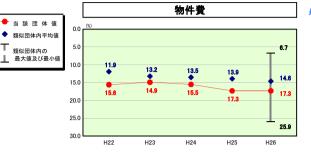
平成26年度

栃木県下野市

## 経常収支比率の分析



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



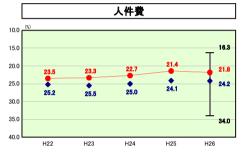
類似団体内順位 159/198 全国平均

栃木県平均 158

#### 物件費の分析機

物件費に係る経常収支比率が類似団体、県平均を下回っているのは、指 定管理者制度の積極的導入や広域保育園運営委託、公園施設管理業務、 一般廃棄物収集業務などの民間委託の推進による。

今後も指定管理者制度、民間委託が増えることから物件費は増加すること が想定されるが、委託内容や委託方法の見直しを行いコスト削減に努める。



## 類似団体内順位

23.8

#### 栃木県平均 25.8

栃木県平均

栃木県平均

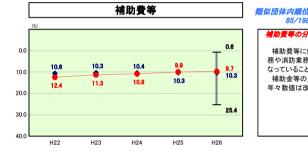
15.7

10.5

### 人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は、ごみ処理業務や消防業務について、一部 事務組合で行っていることから類似団体、県平均を下回っている。 今後も定員適正化計画による定員管理や指定管理者制度導入推進による

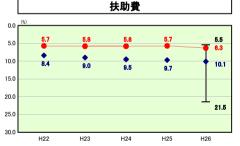
人件費全体の抑制に努める。



### 補助費等の分析機

補助費等に係る経常収支比率が県平均を上回っているのは、ごみ処理業 務や消防業務を一部事務組合で行っていることに対する負担金が多額に なっていることによる。

補助金等の見直しに係る基本方針に基づき経費の削減を進めたことにより、 年々数値は改善されてきており今後も更なる改善を図る。

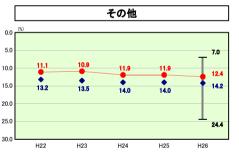


### 類似団体内順位 10/198 扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は、類似団体、県平均を大幅に下回り良好な数 値となっているが、医療費や生活保護費などの増加により上昇傾向にある。 資格審査の適正化を進め上昇傾向に粛止めをかけるよう努める。

全国平均

11.7



## 58/198

類似団体内順位

その他に係る経常収支比率については、特別会計への繰出金が大半を占 めていることから、公共下水道、農業集落排水特別会計などへの繰出金の 抑制を図り、各特別会計の財政健全化に努める。

栃木県平均

栃木県平均

74.2

135

全国平均



H24

H25

10.0

20.0

30.0

H22

H23

## 116/198

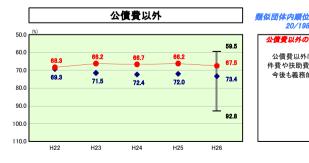
27.9

H26

公債費に係る経常収支比率は、類似団体、県平均を上回っているが、これ は学校の耐震補強や大規模改修事業で起債した合併特例債に係る償還が

18.2

今後、新庁舎建設の完了、総合運動公園など合併特例債を活用した大型 事業が施行中であることから、更に上昇することが想定されるため事業の峻 別を行いながら財政の健全化に努める。



### 20/198 公信費以外の分析

公債費以外に係る経常収支比率が類似団体、県平均を下回ったのは、人 件費や扶助費の義務的経費が低かったことによる。

今後も義務的経費の上昇を抑えるとともに行政コストの縮減に努める。

全国平均

73.1

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

#### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 ● 当該団体値 (円) ◆ 類似団体内平均値 160.000 類似団体内の 最大値及び最小値 140,000 126,777 120,000 100,000 74,257 72,313 80,000 73,685 60.000 40.000 45,498 20.000 H24 H25 H26

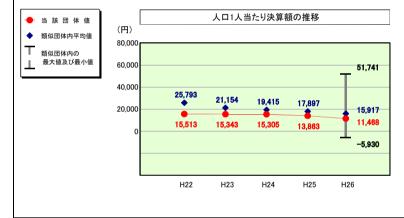
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	3, 190, 782	52, 972	65, 114	<b>▲</b> 18.6
賃金(物件費)	248, 431	4, 124	4, 538	<b>▲</b> 9.1
一部事務組合負担金(補助費等)	488, 896	8, 116	5, 513	47. 2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	953	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	_
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	117, 772	1, 955	2, 887	<b>▲</b> 32.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	165, 899	2, 754	1, 642	67. 7
▲退職金	<b>▲</b> 319, 666	<b>▲</b> 5, 307	<b>▲</b> 6, 965	<b>▲</b> 23.8
合計	3, 892, 114	64, 615	73, 685	<b>▲</b> 12. 3

#### 参老

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	5. 99	7. 13	<b>▲</b> 1.14
ラスパイレス指数	98. 6	98. 1	0. 5

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

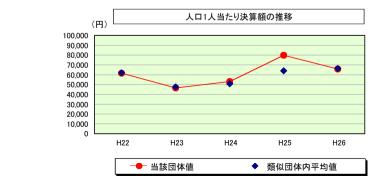


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額	2, 464, 644	40, 917	43, 359	▲ 5.6
(繰上償還額等を除く) 積立不足額を考慮して算定した額	=,,	,	0	
		_	U	
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	668, 549	11, 099	11, 806	▲ 6.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	72, 723	1, 207	1, 910	▲ 36.8
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	93, 767	1, 557	1, 129	37. 9
一時借入金利子	_	_	5	_
(同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	_	_	J	
▲特定財源の額	<b>▲</b> 206, 929	<b>▲</b> 3, 435	<b>▲</b> 5, 126	<b>▲</b> 33.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	<b>2</b> , 401, 994	▲ 39,877	▲ 37, 205	7. 2
日本	690, 760			▲ 28.0

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



#### 普通建設事業費

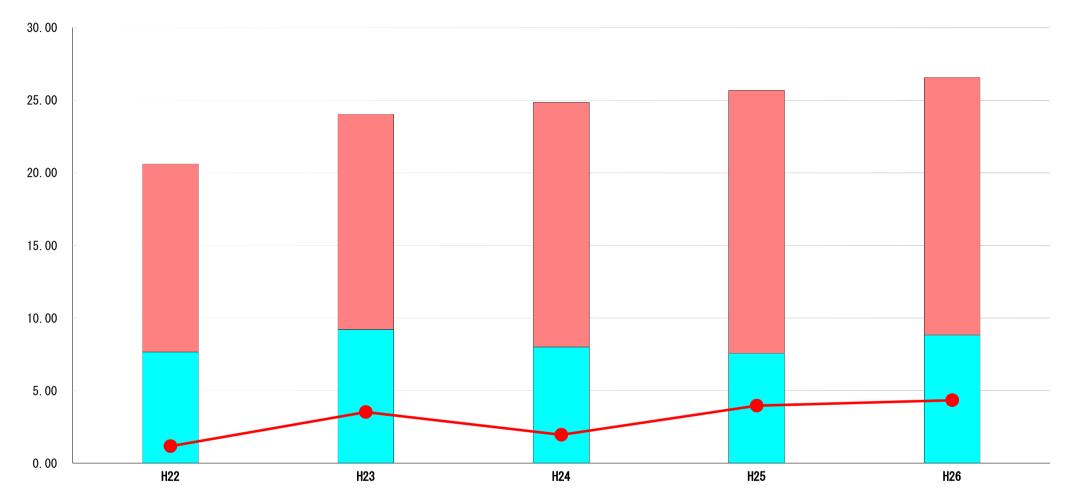
	当該団体決算額   人口1人当たり決算額					額	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H22		3, 662, 056	61, 621	5. 7	61, 882	6. 7	<b>▲</b> 1.0
	うち単独分	2, 134, 764	35, 921	<b>▲</b> 8.5	32, 175	0.0	<b>▲</b> 8.5
H23		2, 774, 019	46, 553	<b>▲</b> 24.5	47, 569	<b>▲</b> 23. 1	<b>▲</b> 1.4
	うち単独分	1, 845, 723	30, 974	<b>▲</b> 13.8	26, 255	<b>▲</b> 18.4	4. 6
H24		3, 182, 814	53, 017	13. 9	50, 880	7. 0	6. 9
	うち単独分	1, 656, 573	27, 594	<b>▲</b> 10.9	26, 879	2. 4	<b>▲</b> 13.3
H25		4, 816, 202	79, 899	50. 7	63, 956	25. 7	25. 0
	うち単独分	2, 156, 434	35, 774	29. 6	29, 239	8. 8	20. 8
H26		3, 966, 416	65, 849	<b>▲</b> 17.6	66, 255	3. 6	<b>▲</b> 21.2
	うち単独分	2, 708, 530	44, 966	25. 7	31, 822	8.8	16. 9
過去5年間平均		3, 680, 301	61, 388	5. 6	58, 108	4. 0	1. 6
	うち単独分	2, 100, 405	35, 046	4. 4	29, 274	0.3	4. 1

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成26年度

栃木県下野市

## 標準財政規模比(%)



## 標準財政規模比(%)

			-		
区分	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高	12. 94	14. 83	16. 85	18. 11	17. 75
実質収支額	7. 66	9. 21	8. 01	7. 57	8. 82
<b>上</b> 実質単年度収支	1. 18	3. 53	1.96	3. 97	4. 34

## 分析欄

財政調整基金は、20百万円の取崩を行ったことにより平成26年度残高は2,513百万円となった。これに伴い財政調整基金残高に係る標準財政規模比も前年度並みの水準になっている。

また、実質収支額は8%超の黒字で、実質単年度収支については±5%以内で推移している。

今後も財政調整基金の維持や実質収支の黒字に努める。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

H22

平成26年度

栃木県下野市

H26

標準財政規模比(%) 25.00 20.00 15.00 10.00 5.00 0.00 赤字額 黒字額 赤字額 黒字額 赤字額 黒字額 赤字額 黒字額 H23 H24

標準財政規模比(%)

年度 会計	H22	H23	H24	H25	H26
一般会計	7. 65	9. 21	8. 05	7. 66	8. 82
水道事業会計	6. 00	5. 98	5. 72	5. 88	5. 89
国民健康保険事業	2. 64	3. 11	2. 02	2. 17	2. 12
小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理 事業特別会計	1. 16	1. 35	1. 41	1. 35	1. 41
介護保険事業	0. 62	0. 42	0. 74	0. 80	0. 55
公共下水道事業特別会計	0. 48	0. 61	0. 52	0. 29	0. 37
農業集落排水事業特別会計	0. 11	0. 04	0. 15	0. 10	0. 08
宇都宮都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事 業特別会計	0. 00	0. 00	0.06	0. 12	0. 05
その他会計(赤字)	_	-	-	-	_
その他会計(黒字)	0. 09	0. 05	0. 03	0. 02	0. 01

### 分析欄

H25

連結実質赤字比率に係る各会計が健全財政運営に努めた結果、全ての会計が黒字となっ

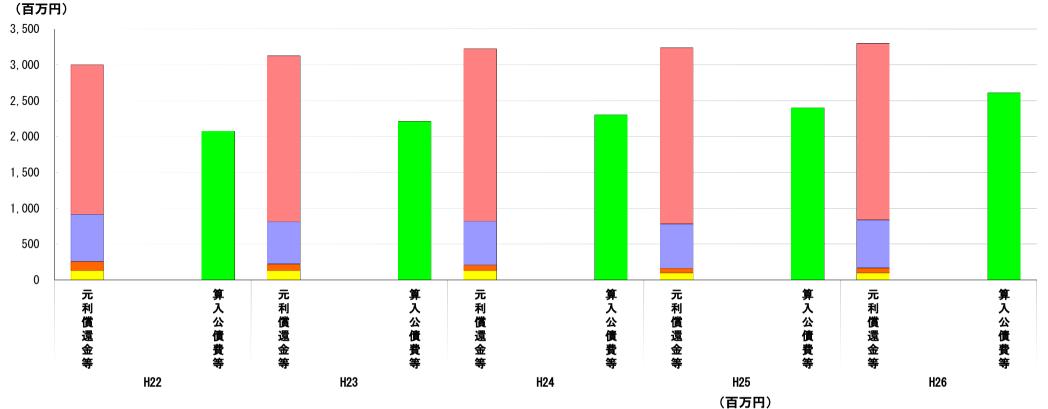
今後も更なる行財政改革を推進し、健全財政の維持に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成26年度

栃木県下野市



分子の構造	年度	H22	H23	H24	H25	H26
	元利償還金	2, 083	2, 316	2, 403	2, 458	2, 465
元利償還金等(A)	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	ı	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	657	589	613	619	669
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	130	94	78	69	73
	債務負担行為に基づく支出額	129	129	129	94	94
	一時借入金の利子	ı	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	2, 077	2, 214	2, 304	2, 403	2, 609
(A) - (B)	━━ 実質公債費比率の分子	922	914	919	837	692

## ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### 分析欄

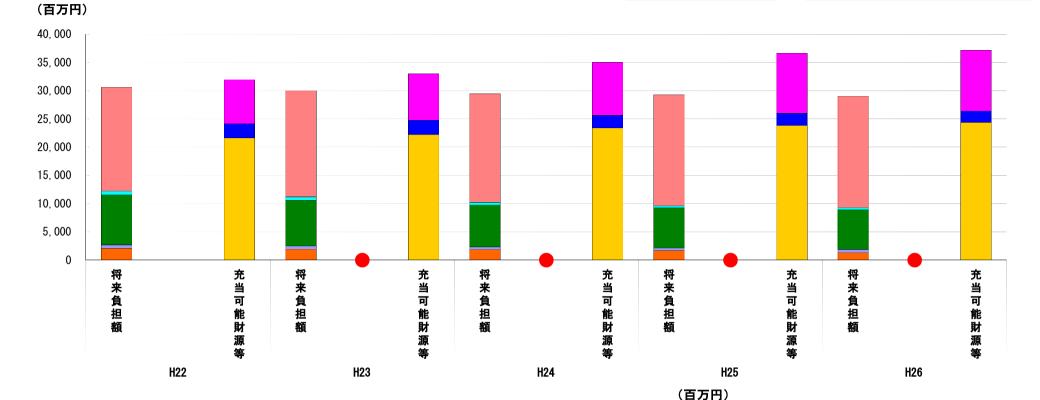
繰上償還により実質公債費比率の分子は減少傾向にあるが、学校の耐震補強や大規模改修事業で起債した合併特例 債の償還が開始されたことにより元利償還金が増加している。 一方、算入公債費等も合併特例債の償還金増加にともない 上昇傾向にある。

今後も新庁舎建設、総合運動公園など合併特例債を活用した事業増加の影響から、元利償還金の増加が見込まれることから、既発債の繰上償還の検討や事業の峻別を行い、実質公債費比率の上昇を最小限に抑える。

## (8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成26年度

栃木県下野市



						(H/J13/
分子の構造	年度	H22	H23	H24	H25	H26
	一般会計等に係る地方債の現在高	18, 395	18, 842	19, 216	19, 651	19, 738
	債務負担行為に基づく支出予定額	688	591	489	418	344
	公営企業債等繰入見込額	8, 850	8, 097	7, 445	7, 116	7, 033
将来負担額(A)	組合等負担等見込額	601	572	437	405	571
付米負担額(A)	退職手当負担見込額	2, 077	1, 918	1, 862	1, 695	1, 325
	設立法人等の負債額等負担見込額	_	1	1	-	_
	連結実質赤字額	_	-	-	-	_
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
	充当可能基金	7, 729	8, 236	9, 383	10, 596	10, 795
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入	2, 544	2, 562	2, 257	2, 160	2, 015
	基準財政需要額算入見込額	21, 611	22, 204	23, 372	23, 827	24, 367
(A) — (B)	将来負担比率の分子	▲ 1,274	<b>▲</b> 2, 983	<b>▲</b> 5, 563	▲ 7, 299	<b>▲</b> 8, 165

### 分析欄

将来負担額については、学校の耐震補強や大規模改修などに係る地方債の発行にともない一般会計の地方債残高は増加傾向にある。

一方、充当可能財源等については、減債基金や財政調整基金な どへの積立により増加している。

このことにより、将来負担比率の分子は減少し平成22年度以降 はマイナスとなっている。

今後、新庁舎建設や総合運動公園への合併特例債の活用にともない一般会計等に係る地方債残高が増加することにより、将来負担比率も上昇することが想定されるため、事業の峻別や充当可能基金の計画的な積立と有効活用を図り健全財政の維持に努める。

[※]平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。